

茨城県大子町新庁舎 内覧会のご案内

このたび「茨城県大子町新庁舎」が竣工となりました
発注者様のご厚意により 内覧会を 8月7日(日)・8日(月)に開催させていただきます
ご多忙かと存じますが是非この機会にご高覧いただきたくご案内申し上げます



ご案内

日 程 : 2022年8月7日(日)、8日(月)
[内覧会] 9:30-17:00 (受付 9:00-16:30)
会 場 : 茨城県大子町新庁舎
住 所 : 茨城県久慈郡大子町大字北田気字上ノ原 662 番
当日連絡先: 080-7163-6674 (樋口)

ご注意事項

- ・ 入り口で検温を実施いたします。発熱が確認された場合、入場をお断りする場合がございます。
- ・ 必ずマスクをご着用ください。
- ・ 両日とも、同時刻に町民の方々を対象とした内覧会が開催予定です。受付の窓口が異なりますのでご注意くださいようお願い申し上げます。
- ・ 内覧会は土足禁止のため、スリッパをご持参いただけますと幸いです。

アクセス

※お車でのご越しが便利です。

【車(水戸駅/那須塩原駅から常陸大子駅まで)】

約1時間15分

【電車(水戸駅から常陸大子駅まで)】

約1時間20分

水郡線時刻表(7日・8日共)

水戸 → 常陸大子	常陸大子 → 水戸
07:28→08:55	11:23→12:40
09:23→10:39	13:53→15:09
11:15→12:35	15:53→17:14
13:15→14:33	16:42→18:02
	17:48→19:06

【常陸大子駅から大子町新庁舎まで】

徒歩 常陸大子駅より約20分

タクシー 常陸大子駅より約5分

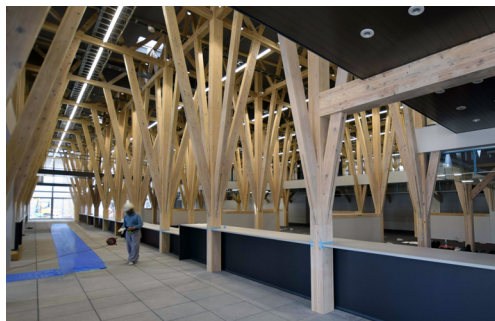
※タクシーは台数に限りがございます。

・ 滝交通タクシー [TEL: 0295-72-0073]

・ 茨城交通タクシー [TEL: 0295-72-0055]

マップ





Concept

本計画は2018年6月の公募型プロポーザル選定から、町長選、2019年10月に発生した台風第19号による被災などの情勢変化を受け、5度の基本設計と2度の実施設計、ワークショップ等を経て計画した、茨城県産材による5000㎡の純木造庁舎です。

敷地は周囲を八溝山系の山に囲まれた高台にあり、大子町の中心市街地を視認できる場所に位置します。建物高さを9m以下に抑え、桁行方向113.7mで水平に伸びる大屋根の下に、製材、集成材、接着重ね材（BP材）の3種の木材による架構を林立させた計画です。材積として900㎡程ある材料を確保することが設計時点からの課題だった為、県の林業組合等と打ち合わせを重ね、トレーサビリティの確保を念頭に設計を進めました。流通材の寸法感から逸脱しないように調整を重ねており、柱は240角の杉集成材、梁は240×360の杉BP材、方杖は120×210の杉製材等を一般流通材の寸法（2間モジュール）を念頭に材寸計画しています。

木造における一般的な筋違で構造壁量を確保すると、耐力壁の必要箇所が増えて庁舎としての機能を担保することが難しくなります。その為、耐震要素は周囲に分散させ、建物中央には上部へと延びる方杖材が接合された柱を2間モジュールで並べて構造耐力を補填し、壁のない開放的な空間

を計画しました。中央に開放的な空間を設えることで、町民利用の多い執務課を集約でき、利用者にとってもわかりやすい平面計画となることを意図しています。方杖材と柱の関係（取り付け角度）は大きく分けて「3種類」程度に限定することで、プレカット加工時やレーン加工時の単純化や施工時の合理化を図りました。従来工法の継承と発展を目指しています。

大規模建築及び木造建築には防耐火要件がついてまわりますが、本計画では壁等の区画（2時間耐火コア区画）を適用して区画コアを境に各建屋の面積を3000㎡以下に抑え、準耐火建築物として燃え代設計が適用できる条件整理を行うことで木材のあらしを実現させています。加えて、スプリンクラーを任意設置することで空間を遮る区画壁を減らし、外部から内部へと続く木架構が林立する風景を成立させています。設備要素も隠蔽せずに露出させメンテナンスの容易さを担保しつつ、木造建築における延焼要因でもある貫通部を低減し、それら設備の要素も空間を形作る要素として統合した計画です。

建築をかたちづくるマテリアルやエレメントを統合することで、木架構が自律的に存在する様相を表現し、大子町に根付いてきた木に対する意識と感覚に寄り添い継承され続けることを目指しています。

建築概要

所在地：茨城県久慈郡大子町

主要用途：庁舎

構造：木造 / 準耐火建築物（一部2時間耐火）

階数：地上2階

敷地面積：30,826.00㎡

建築面積：3,927.60㎡

延べ面積：5,073.11㎡（付帯建物除く）

設計期間：2018年6月～2021年2月

（旧敷地 / 鉄骨造含む）

施工期間：2021年3月～2022年7月

設計

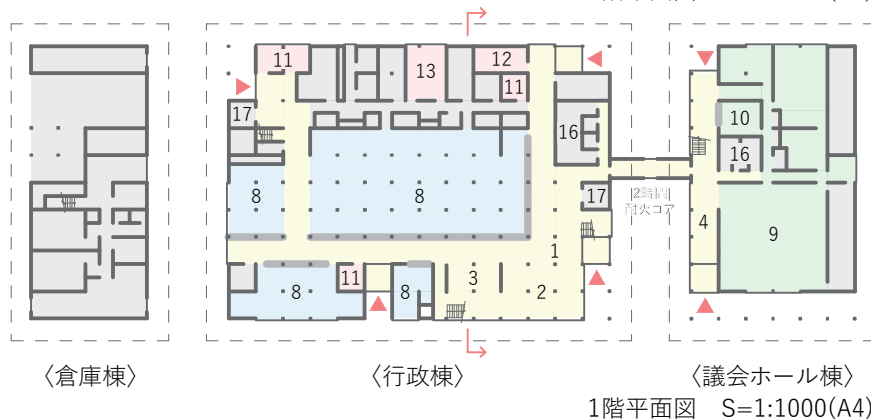
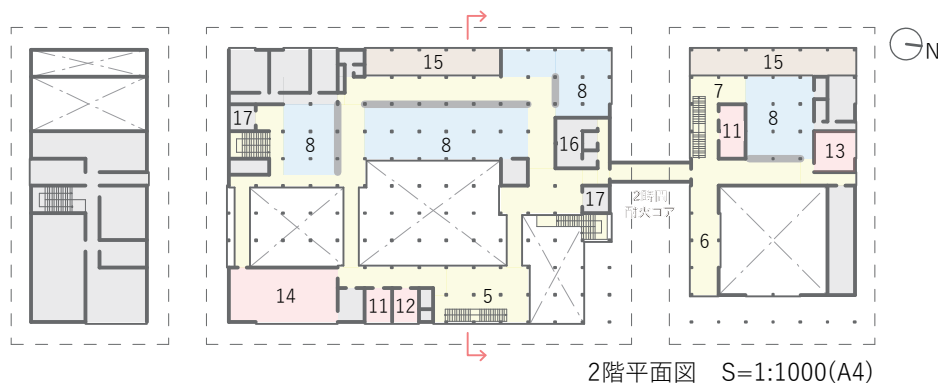
建築：遠藤克彦建築研究所

構造：佐藤淳構造設計事務所

設備：EOS plus

川村設備研究所

積算：フジキ建築事務所



- | | |
|--------------|-----------|
| 1. メインエントランス | 10. 議会事務局 |
| 2. ふれあいホール | 11. 相談室 |
| 3. 待合ラウンジ | 12. 会議室 |
| 4. ホワイエ | 13. 中会議室 |
| 5. ブックラウンジ | 14. 大会議室 |
| 6. 多目的スペース | 15. 展望テラス |
| 7. 展望ラウンジ | 16. WC |
| 8. 執務スペース | 17. EV |
| 9. 議場 | |

- 【凡例】
- 町民利用エリア
 - 執務エリア
 - 議会関係諸室
 - 会議室・相談室
 - 展望テラス
 - 付属室・WC・設備機械室

